

エルサレムの陥落

2026年7月12日

ヨハネの黙示録 19章1～10節

ゼカリヤ書 12章2～3節、14章1～2節

人類の世界の歴史のクライマックスは終末

終末のクライマックス＝ハルマゲドンの戦いとキリストの地上再臨（8つの段階）

①反キリスト同盟軍の召集（ハルマゲドン：イスレエル平原）

②バビロンの滅亡（世界統一宗教的勢力 17章・世界大政治的勢力 18章）

③エルサレムの陥落

④ボツラに攻め入る反キリストの軍勢

⑤イスラエルの国家的新生

⑥キリストの地上再臨

⑦ボツラ～ヨシャパテの谷に至る戦い

⑧オリーブ山に勝利の主が立つ

ヨハネの黙示録 19章1～10節 キリストの地上再臨前の天上の様子

バビロンの破滅を喜ぶ

神を賛美、礼拝

小羊と花嫁の結婚

I. キリストと教会の結婚（婚礼）

(1)父が子のために計画

花嫁料：キリストの贖いの血

婚約期間：1年以上

花婿が花嫁を迎えに来る：携挙の時すでに起こっている（時は経過）

花嫁（教会）はすでにキリストの御座のさばきを受けて亜麻布を着ている

儀式的きよめ

正しい行い

結婚式に臨む

(2)婚宴（披露宴）は再臨後に、地上で行われ、千年王国が始まる（同時ではない）

終末のクライマックス八段階の三番目は黙示録にはない（19・11～は再臨のキリスト）

ゼカリヤ書 12章2～3節 14章1～2節

II. エルサレム陥落

(1)反キリストと同盟軍はハルマゲドンに召集

↓

反キリストが再建し、統治していた世界の首都バビロンが滅亡（宗教・政治両面
一瞬の滅亡のとき、反キリストはバビロンにはいなかった（戦場で指揮）

(2)反キリストと世界から結集した大軍勢はエルサレムへと進軍

目的：残りのユダヤ人を全滅させる

ユダヤ人の悔い改め、国家的回心の機会を奪う

キリストの地上再臨は、ユダヤ人たちの頑な心が砕かれ、主に「主よ、来てください」と嘆願して叫び求めることが条件

そうさせないために全滅を計る

(3)それまでに、残りの民はボズラに逃避している

(4)反キリストと大軍勢はエルサレムを破壊してから、ボズラに向かって進軍する

Ⅲ．結び

(1)神のご計画は天でも地でも肅々と確実に同時進行で成就している

(2)地上では、終末のクライマックス＝ハルマゲドン～主の再臨にむかって進む中、
天上では、バビロンの崩壊を歓喜し、神が讃めたたえられ、すでに準備が整えられたキリストと教会の結婚式が行われる（携挙後）

(3)聖書の預言をつなぎ合わせると全貌が見えてくる

(4)神はみこころの実現のために、あらゆるものをお用いになる
その最たるものが人間　主に自分を差し出しているものを召し用いられる

(5)終末、神のさばきの時は必ず来る　聖書にプラスマイナスせず、曲解しないで
神のことばとして受け取る

(6)自分が正しく知って、信じ、他の人達に伝えよう
終末論は、多くの聖徒間や教会であまり語られていない部分です